



2026年3月26日

住友商事株式会社  
九州旅客鉄道株式会社  
西部ガス株式会社  
清水建設株式会社  
大和ハウス工業株式会社  
東急不動産株式会社  
株式会社西日本新聞社  
西日本鉄道株式会社

## 【日本最大級のスマートシティ 2028年度に福岡に誕生】 九州大学箱崎キャンパス跡地地区におけるまちづくり 土地利用事業者に正式決定

住友商事株式会社を代表企業として8社で構成する企業グループが、2026年3月26日(木)付けで、国立大学法人九州大学および独立行政法人都市再生機構九州支社による「九州大学箱崎キャンパス跡地地区 土地利用事業者募集」における土地利用事業者に正式に決定いたしましたのでお知らせいたします。



※「イノベーションコア」街区のイメージパース

## ■事業着手の背景

本事業は、「九州大学箱崎キャンパス跡地グランドデザイン」の実現に向けて、九州大学の歴史と広大な敷地を活かし、多様な人々が集まりイノベーションを生む拠点を目指すとともに、「FUKUOKA Smart EAST<sup>※</sup>」の理念に基づく、伝統と革新を融合した日本最大級のスマートシティ開発です。

産官学民が各々の役割を発揮しながら共に取り組み、新産業を創造・発信していくとともに、環境先進都市として世界を牽引する、未来のまちづくりを実現します。

### ※FUKUOKA Smart EAST について



**FUKUOKA  
Smart  
EAST**

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、先端技術の導入などによる、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるまちづくりに取り組んでいくもの。まずはその先駆けとして、箱崎のまちづくりにおいて取り組み、それが全市に広がり、さらに市を超え、より多くの人々に届くよう進めていくもの。

## ■目指すまちの姿

計画の地となる箱崎は、1911年に九州帝国大学開学以来、100年以上にわたり伝統と誇りが受け継がれてきた場所です。本事業はその歴史的背景と広大な敷地を活かし、**様々な人々が集いイノベーションを創出する拠点**を目指します。

コンセプトは、「**HAKOZAKI Green Innovation Campus**」。

国が世界に伍して勝つ、ゲームチェンジを仕掛ける革新技術開発である **IOWN 構想<sup>※</sup>**を取り入れることで、**常に新しい価値観や技術を取り入れたスマートサービスのアップデートや新サービスの創出**ができる環境を構築します。様々なスマートサービスを統合・連携させることで、より適切なサービス提供につなげ、未来のスマートシティモデルの実現を目指します。

まちづくりの核となる6つの方針（九州大学100年の歴史の継承、福岡の文化・1000年の歴史の継承、新産業の創造と成長、環境先進都市の創造と成長、みどりあふれる空間の創出、新しいライフスタイルの創出）のもと、2028年度のまちびらきを目指して、快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、持続可能なモデル都市を実現します。

※ IOWN (Innovative Optical and Wireless Network)は省電力・低遅延・大容量に関する革新的な通信技術。IOWN 構想はまち全体のデジタルツインを実現した上で、すべてのスマートサービスを統合・連携することで未来のスマートシティを実現する考え方。

## ■まちづくりの概要

詳細は以下の公表内容をご参照ください。

### ○ 事業基本計画の概要

<https://www.sumitomocorp.com/>

[/media/Files/hq/news/release/2026/20940/20940\\_business\\_plan\\_ja.pdf](https://www.sumitomocorp.com/media/Files/hq/news/release/2026/20940/20940_business_plan_ja.pdf)